

今

遠野オフキャンパス 2016年度プログラム  
重文千葉家の活用を考える第4回学習会

## 千葉家オフキャンパス

### フィールドワーク



国の重要文化財である千葉家住宅は、蔵や納屋、石垣などを含め、今後長期に渡って解体修復されることになっています。解体修復の対象は建物やそれが建つ敷地そのものですが、本来建物は周辺の環境や生業と一体のものです。千葉家の建物の未来を考えるうえでは、それを取り巻く周辺の環境や地域の未来も同時に考える必要があります。千葉家の背後の山林や谷を挟んだ対面の山々、下流の水田地帯まで含めた流域や、遠野、あるいは北上高地、さらには日本の現状にまで視点を広げながら千葉家のことを考えると、環境や暮らし、農業や林業、生き物まで含めた、様々な関係性が見えてくるはずです。今回の千葉家オフキャンパスでは、雪の積もった冬の千葉家周辺をスノーシューを履いてフィールドワークし、さらにランドスケープデザイナーによるレクチャーを通して、広い視野から建物や地域のことを考えていきたいと思います。（積雪が少ない場合は、徒歩でのフィールドワークになります）

※ レクチャーのみの参加もできます！

3 / 4 (土)	
time	schedule
09 : 20	綾織地区センター到着 自己紹介・ガイダンス
10 : 30	スノーシューによる千葉家建物および周辺フィールドワーク
12 : 00	昼食
13 : 00	スノーシューによる千葉家建物および周辺フィールドワーク
15 : 00	綾織地区センター到着 レクチャー：千葉家周辺の環境について
16 : 30	綾織地区センター解散

講師：清水敬示（微気候デザイン研究所） 田瀬理夫（農業生産法人ノース代表、造園家）

霜田亮祐（千葉大学准教授、ランドスケープデザイナー）

対象：重文千葉家の活用を考える会の会員及び一般

（積雪時のフィールドワークはスノーシュー + ストックを持参できる方）

日時：2017年3月4日 9時～16時30分（レクチャーのみの参加は15時～16時30分）

場所：千葉家および山を含む周辺地域

服装：スキーウェアのような防寒具。（特にウィンドブレーカーのような風を遮り、撥水性があることは必須）靴は長靴かアウトドア用の靴。帽子・手袋など適宜。（冬山にスキーに行く格好をイメージし、当日の気候・天気予報に合わせて各自準備して下さい。

持物：スノーシュー+ストック。カップラーメンなどお湯をいれるだけで調理できる昼食。インスタントコーヒーやティーバッグなどお湯を入れるだけで飲める飲み物。マグカップ。水筒（フィールドワーク中の水分補給用。中身は自由）行動中に糖分の摂取ができる菓子類（糖分はすぐエネルギーになり、疲れにくくなります。チョコレート、あめ玉、ゼリー飲料、ビスケット等）ノートやメモ帳、筆記用具、カメラなど。以上を入れるリュック。（両手にストックを持つので、両手が空くようにしてください。

参加費：無料

主催：遠野市遠野文化研究センター文化課 0198-62-2340

共催：農業生産法人株式会社ノース

※実測の進行状況や天候等によってスケジュールは変更になることがあります。